

広報はむら

平成 26 (2014) 年

12 月 15 日号



📖 主な記事

- 1 特集 Weave ～男女共同参画社会の実現に向けて～
- 3 イベント情報
第 28 回羽村市ふれあい綱引き大会／郷土博物館 体験学習会
「まゆ玉だんごを作ろう！」 など
- 5 市政の情報
意見公募手続き 羽村市スポーツ推進計画(案)／消防団員
募集／平成 26 年 秋の褒章／12 月 23 日(火) (天皇誕生日)
市役所サービスを一時停止します など
- 8 年末・年始のお知らせ
- 11 情報アラカルト
- 15 市職員の任免・給与・勤務条件などの状況
- 18 こどものページ



表紙の写真 (平成26年11月27日撮影)

寒空に映える「ゆず」

ゆずは、寒さに強く、冬に黄色に熟します。羽村でも至る所でゆずの木を見かけます。日本では古くから、「冬至にゆずを浮かべた湯船に入ると風邪をひかない」と言われています。ゆず湯で疲れを癒しながら、今年一年を振り返るのも良いでしょう。

羽村市公式キャラクター



「はむりんのうた」のCDを市役所広報広聴課と図書館で貸出中です。ぜひ聞いてみてりん♪市公式サイトには動画もあります。

はむりん

Weave

～男女共同参画社会の実現に向けて～

国では「すべての女性が輝く社会」として、女性が各々の希望に応じて、職場でも、家庭や地域でも、個性と能力を十分に発揮し、輝くことができる社会を目指しています。

市でも「羽村市男女共同参画基本計画」に、女性のチャレンジ支援や、方針の立案・決定の場への女性の参画促進を掲げ、女性がさまざまな場面で活躍できるように取り組んでいます。

今回は、会社の代表として多くの苦難を乗り越えてきた五島悦子さんを紹介します。

問合せ 企画政策課企画政策担当⑨ 314

インタビュー

輝き続ける女性

～与えられたチャンスを生かして～

ごとう えつ こ
五島悦子さん

(誠産業株式会社 代表取締役社長)



▲インタビューに応じてくれた五島さん。気さくな受け答えの中にも、会社の代表としての鋭い感性が感じられました。

代表取締役社長に就任した時の気持ちは？

今から30年ほど前、子どもの学費の足しになればと、午前9時から午後4時までのパートタイムで働き始めて間もないころ、急に社長が退任することとなりました。

当社は、産業用エアークンプレッサーの販売と保守を行っていますが、エアークンプレッサーは止まってしまおうとお客様への影響が甚大なものとなります。誰かが業務を引き継がなくてはならない状況で、私が希望するしないにかかわらず、代わりに社長に就任することとなりました。不安もありましたが、引き受けることができたのは、親会社の支えと、自分の持っている「責任感・正義感」が背中を押してくれたからです。

家族や周りの方の反応は？

夫や子どもにとっては大きな変化で、負担もかけたと思います。でも、私は私のやるべきことをやっていけばよいと考えていました。

苦労したことはありますか？

当時は、女性が何かをするということは簡単ではなかったんです。働いているのは男性ばかりで、特に取引先のご担当者が男性という点では不安になったこともよくありました。でも、女性だからといって理不尽な扱いを受けることはありませんでしたし、わからないことがあった時には、素直に教えを乞うて出直しました。

海外進出のため、ベトナムに駐在事務所を設立したのち、景気が悪化して大変なこともありましたが、社員みんな協力して乗り越え、今では現地法人を設立して4年目に入りました。

また、会社や家庭では一人で二つも三つも役割を背負うことになりました。30年前と今では、社会もだいぶ変わりました。家事労働も簡便化されてきていますし、個人の生活スタイルや考え方も変わり、全体的に女性が働きやすい環境になったのではないのでしょうか。